

# BabyPark

## 作成背景と技術的目的について

### サービス作成背景

今回のサービスは、私が今年第一子を授かることをきっかけに父親の育児の悩みを解決できる場があればと思ったのが要因です。

新型コロナウイルス発生前に比べて、家事・育児意識に変化があったかという問いに関し約6割が「はい」と答えている。

テレワークなど、働き方が変わった家庭では夫の役割が格段に増えているとのこと。コロナによる自宅待機が増えたため、育児や家事の参加率が上がっていることが要因だと考えます。

さらには、「妊娠後期のプレママ/プレパパのときから、父親は育児に向けた準備に積極的に参加するべきだと思う」と答えたママは74.8%に対し、パパは61.5%、「父親が育児に向けた準備に参加するのは難しいと思う」と答えたママは25.3%に対し、パパのほうが38.6%と多い結果がある。ママの「パパも育児に参加するべき」という思いと、パパの「参加するのは難しい」という思いにギャップが存在していることが明らかです。

参加するのは難しいと答えるパパに多い原因は様々です。「育児のスタートを同時に出来ない」「ママからの家事や育児のダメ出し」「子供がパパが嫌い」「仕事が忙しくて時間が取れない」「育休に関する理解を得られない」などなど。パパの労働時間が長いことや未だに、「パパは仕事、子育てや家事はママが中心に行うもの」という意識が強く、ママだからやって当たり前」という風潮が未だに残っているためか、育児に参加する意識を持ってないパパや何をすればいいのかわからないパパは大勢います。

では、パパの育児の参加による影響があるのかですが、パパが育児に関わることで子供の社会性が高くなることがわかっています。パパが積極的に育児に参加した家庭と、ほとんどしてこなかった家庭では3歳になったときの子供の社会性の値が高かったそうです。

このことからパパもママも育児に積極的になれるようその手助けができればと思いました。そこで、育児に関するQ&Aサイトを作ることでパパの育児に対する悩みを共有・解決できるばを設けたいと考えました。

コロナの影響で今後、育児・家事に対しての取り組みは確実に増えると予想されます。サービスの目的としては「パパママの育児の悩みを共有・解決する」ことにありますが、目指すもうひとつの場所としては、パパとママの抱える悩みをお互いの立場から理解し、それぞれの立場から意見を共有し理解を深められる場にしたいと考え、本サービスの作成を考えた。

本サービスは会員のみが投稿・コメントを行えるようにし、広告枠を設けることで収益化を図りたいと考えております。

## テーマ(概要)

名前: BabyPark

概要: ユーザーが自分の悩みを投稿できる

ユーザーは投稿された悩みにコメントで意見を述べることができる

ユーザーはコメントにいいねを押すことができる

ユーザーはコメントにコメントを返すことができる

コメントはママ・パパで分けることができるため相互の意見を比較することができる

タイトルで質問を検索することができる

投稿のいいねが多い記事ランキングで表示することでよく見られている質問にたどり着くことができる

## 技術的目的

- ・APIを使ったアカウント登録の実装にあたり、APIの取得方法について学び、技術を身につける。
- ・テーブル構造に関する理解を深める。
- ・広告の掲載について学び技術を身につける。
- ・いいね機能やコメント機能実装にあたり、非同期処理について学び、技術を身につける。

---

## 参考文献

「父親はどのように子育てに関わればいいのか？父親ができる子育てとは？」

[https://point-g.rakuten.co.jp/educare/articles/2021/baby\\_father/](https://point-g.rakuten.co.jp/educare/articles/2021/baby_father/)

「産後クライシス」夫婦仲の悪化を防ぐには？夫はいちばん大変な三ヶ月を逃すな！

<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/birth/9043/>

「パパの子育て参加で子供の成長に差が!? パパはどのくらい育児している？」

<https://st.benesse.ne.jp/ikuji/content/?id=35849>

「男性の家事・育児参加に関する実態調査2019」

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20191008.pdf>